

## 幹線道路網の整備状況と今後の取り組みは

**問** ①渋滞緩和に向けた幹線道路網の整備状況は。

②尾道・三原方面や笠岡方面では、バイパス整備が順調に進んでいるようである。福山道路は3・3キロメートルの区間で事業化しているが、未事業化区間の整備促進に向けた取り組みは。

**答** ①福山道路では瀬戸町で橋りょうの下部工事や盛土工事、赤坂町で切土工事など、福山沼隈道

路では草戸町と瀬戸町で橋りょう工事や切土工事などが実施されている。これらの開通により国道2号の交通が分散する。

福山西環状線では駅家町で芦田川を横断する橋りょう工事が行われている。全線開通により国道182号、国道313号、芦田川の右岸、左岸の市道の交通が分散する。②関係市町とも連携し「福山道路整備促進期成同盟会」として、国や地元選出国会議員に対し、3・3キロメートル区間の早期完成に加え、未事業化区間の事業化についても積極的に提言活動を行う。

## 日本共産党



かわのし ひろこ  
河村 晃子

### ハラスメント防止に向けて

**問** ①本市調査委員会は、元校長が訴えていた教育長からのパワハラは認められなかったと結論付けた。調査委員会の議事録を作成しなかった理由は。

②ハラスメントは人格や尊厳を

傷つけるものだが、認識は。

③本市は研修等にごう取り組みか。また、早期発見等のため定期的な職場アンケートを求める。

**答** ①本件の調査報告書は、関係者の供述内容や客観的な関係資料に基づき判断過程を整理したもので、事実上の議事録に相当すると受け止めている。

②個人の尊厳を不当に傷つけ、人権を侵害するものである。

③セクハラ、パワハラ、パワハラ職員の研修を実施している。定期的なアンケートは、現時点では考えていない。

## 母子生活支援施設久松寮の存続を

**問** 久松寮を2020年度末で廃止する方針だが、これまで久松寮が果たしてきた役割をどう認識しているか。

**答** また、コロナ禍で就労先の休業や解雇など女性へのしわ寄せが集中しているが、廃止により母子支援に影響はないのか。DV対応もできるように施設整備や職員体制の拡充を求める。

**問** 母子生活支援施設は、配偶

者のない女子とその児童を保護し生活支援や退所後の相談等を行う施設である。入所者に対し、生活上の悩みや就労の支援、子どもの健全育成や住宅確保の支援など、母子の自立支援を行ってきた。

廃止を補完する施策の一つとして、「母子緊急一時宿泊施設確保事業」により、緊急的な住居確保とひとり親家庭自立支援員による相談を行い、母子の支援を途切れることなく実施していく。

DV被害者への対応は、加害者からの追跡を避けるため、市外または県外への避難を基本とする。

## さらに詳しい内容は会議録で

市議会では、本会議や各委員会の発言などを掲載した「会議録」「委員会記録」を作成しています。

会議録等はホームページから閲覧ができ、キーワードや発言者などから検索することができます。

なお、令和3年3月定例会の本会議の会議録は、5月末掲載予定です。

[福山市のホームページ](#) → [福山市議会](#) →

[会議録検索](#) → [ここからご覧ください。](#)

無料アプリで「ふくやま市議会だより」を配信中!



マチを好きになるアプリ